

小学校だより

平成 27 年 7 月 15 日
第 9 号
五條市立西吉野小学校



夏休み 6つのお願い

9月1日の創立記念日を合わせると46日間の夏休み。その間、子どもたちは学校を離れて、家庭や地域での生活となります。**家庭は、人が人として生きていくための基礎を築く大切な場所**でもあります。下の6つのお願いを参考に、家庭の責任の下、安全で有意義な夏休み・思い出多い夏休みを築いてください。

○ 学んだことを生活に生かす（かしこく）

本年度は算数科を中心に、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、自ら課題を見つけ、学び、考え、解決する学習を進めることで、学んだことを生活に生かす力（活用力）を高めてきました。夏休みは、その力を伸ばす絶好のチャンス。様々な場面で、「習ったことを思い出してごらん。」「習ったことを基に考えてごらん。」といった声かけをお願いします。

○ 人としての大切な心を養う（やさしく）

気持ちのよいあいさつ、善悪を判断する力、人に対する思いやり、自他の命を大切にする心や物事に素直に感動する心、家庭や地域の中での役割の自覚、ボランティア精神等、夏休み中の親子の会話や体験を通じてしっかり身に付けさせてください。

○ 体力の向上を図る（たくましく）

『ぐっすり睡眠・しっかり食事（特に朝食）・すっきり排便』の基本的な生活習慣を崩さないことはもちろん、水泳クラブやプール開放、ラジオ体操の会などに進んで参加させ、体力の向上を図ってください。



○ 今日できることは今日のうちに

「まだ日があるから大丈夫、明日にしよう。」と思ったことが、「やっぱりあのときしておけばよかった。」という後悔に変わります。「後悔先に立たず！」と口酸っぱく言い続けてください。

○ 枠からはみ出す個性よりも、枠の中で輝く個性を

学校が決めているきまりは、「どの子も守れる枠」であり、「みんなが気持ちよく過ごすための枠」「命と体を守るための枠」でもあります。個性や自由といった言葉をはき違えて、枠を超えた自分勝手な行動や羽目を外した行動に陥らないようにしてください。「みんながしているから」とか「ちょっとぐらい」といった言葉にだまされないで、「だめなことはだめ！」「きまりは破るためにあるのではなく、守るためにある！」等、毅然とした指導をお願いします。

○ 人の命は、だれでも一つ！

命は一つ。交通事故や水の事故には細心の注意が必要です。自転車については、被害者にならない指導とともに加害者にならない指導も忘れずに。

「不審者を見た、出会った、被害にあった場合は、迷わず110番。」情報は早ければ早いほど不審者の検挙につながります。警察に連絡後、学校にも一報をお願いします。

携帯電話によるトラブル防止のためには、携帯電話を持たせないのが一番。もし、持たせるのであれば、むやみやたらに使用したり、情報モラルに反する使い方をしたり、有害サイトにアクセスしたりすることがないように、各家庭での厳しい管理をお願いします。

とにかく、保護者として、子どもが、「だれと、どこで、何をしているのか」をきちんと把握しておくことが重要です。



よい夏休みを！